

IGNIS

2020年9月期

決算説明資料

株式会社イグニス (コード : 3689)

INDEX

01 / 決算概要

02 / 事業トピックス

03 / 2021.9期通期計画

04 / その他

05 / 参考資料 (Appendix)

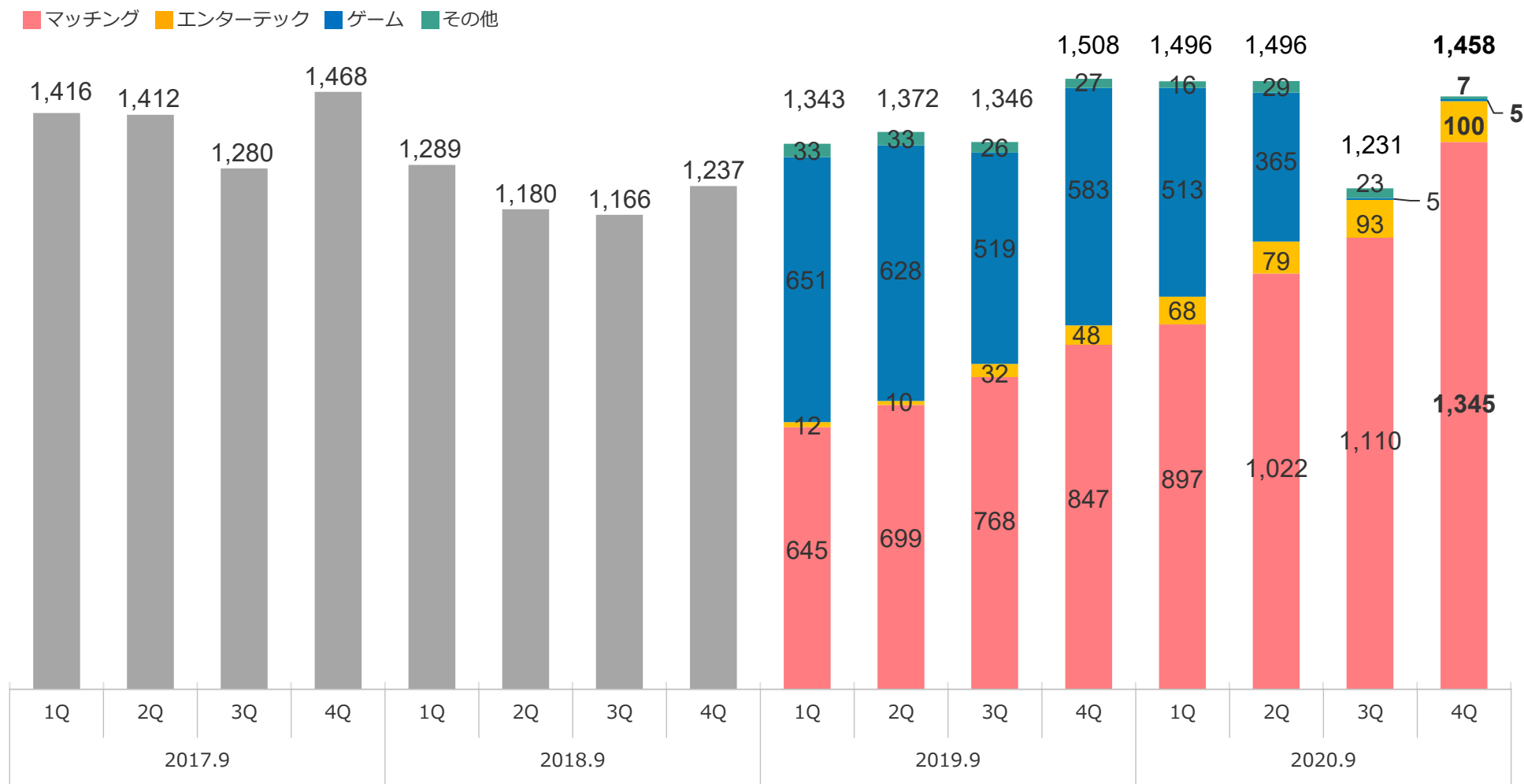
01 / 決算概要

2020.9期決算サマリー

連結業績	事業投資の影響で、利益減			
	売上高 :	5,683百万円	前年同期比 :	102.0%
	営業利益 :	△232百万円	前年同期 :	△744百万円
マッチング	『with』の売上・利益貢献大			
	売上高 :	4,375百万円	前年同期比 :	147.8%
	営業利益 :	1,335百万円	前年同期比 :	181.3%
エンターテック	『INSPIX WORLD』、他社IP準備等で事業投資加速中			
	売上高 :	341百万円	前年同期比 :	327.7%
	営業利益 :	△1,710百万円	前年同期 :	△1,246百万円
ゲーム	主カタイトルを譲渡し、3Q以降の売上貢献無			
	売上高 :	889百万円	前年同期比 :	37.3%
	営業利益 :	306百万円	前年同期比 :	126.5%
その他	HR Tech及び転職エージェントサービス等の売上計上、医療機関向けSaaSは着々と推進中			
	売上高 :	76百万円	前年同期比 :	63.1%
	営業利益 :	△163百万円	前年同期 :	△476百万円

連結売上高の推移（会計期間）

（単位：百万円）

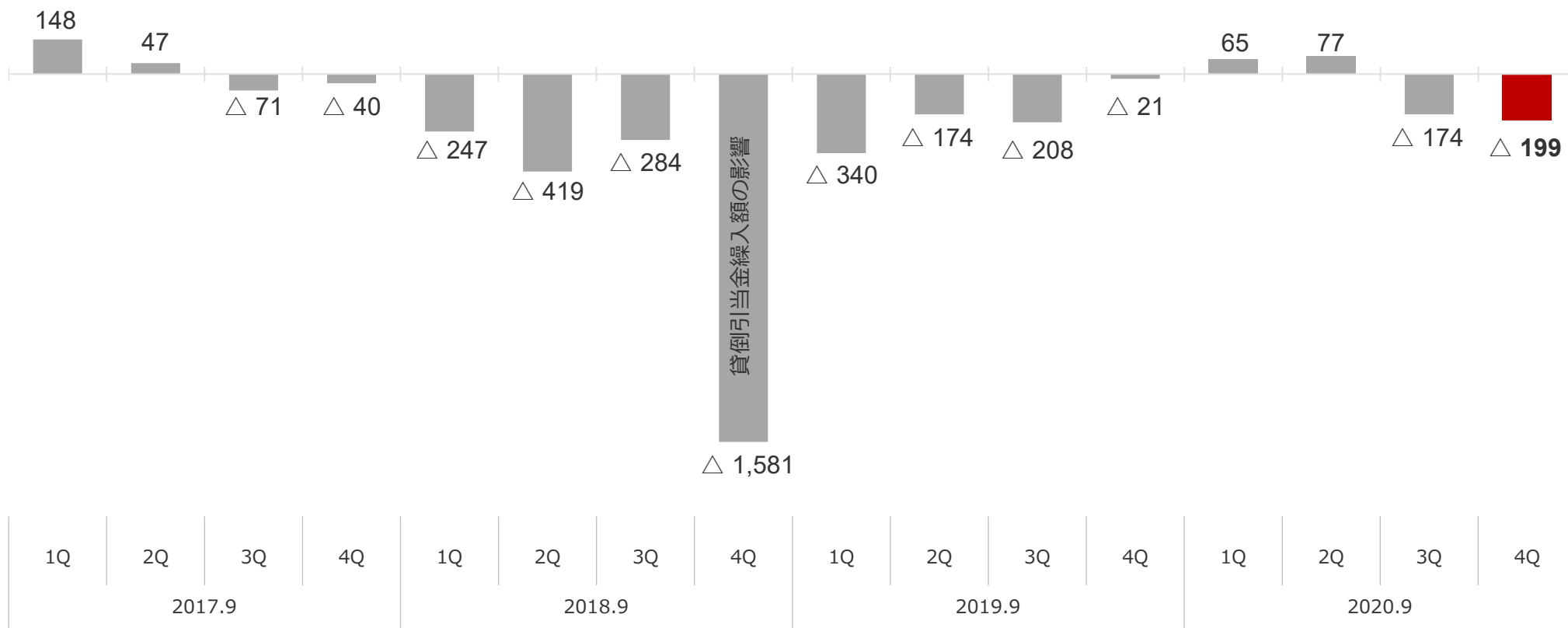


※2018.9月期以前は単一セグメントのため、現状のセグメント区分による数値はありません。

※2019.9月期の各セグメント数値は、監査法人による監査を受けていません。

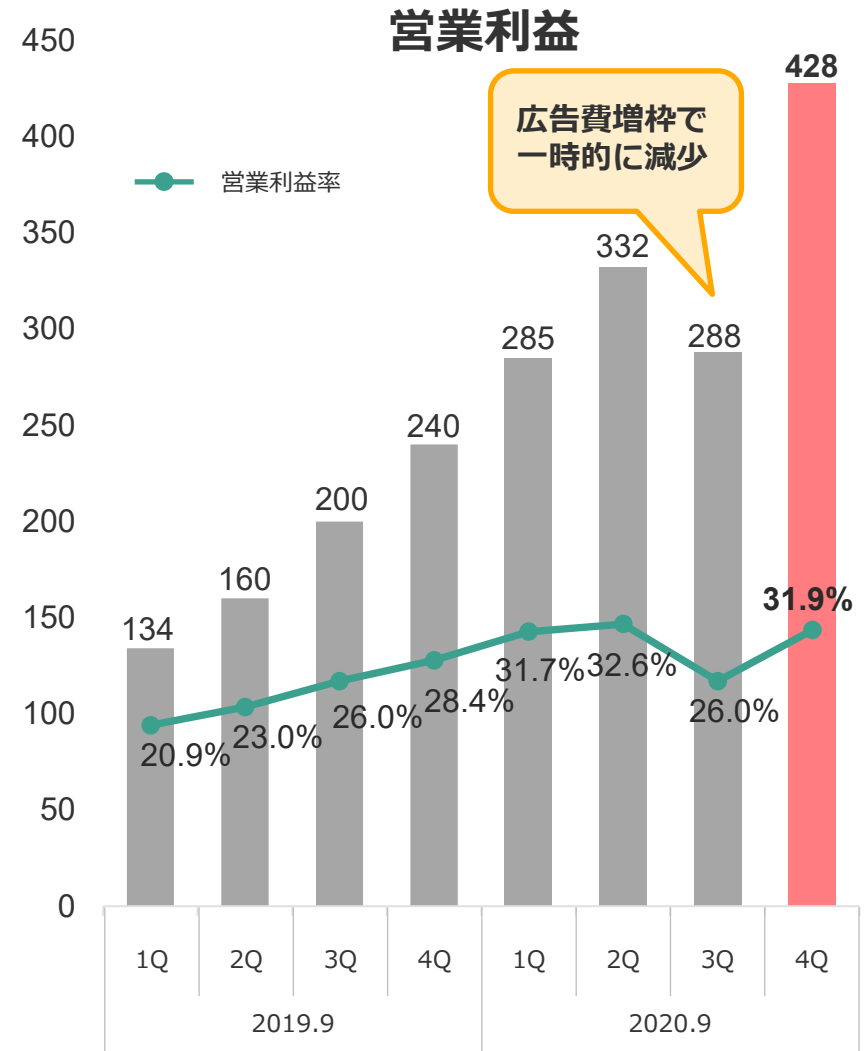
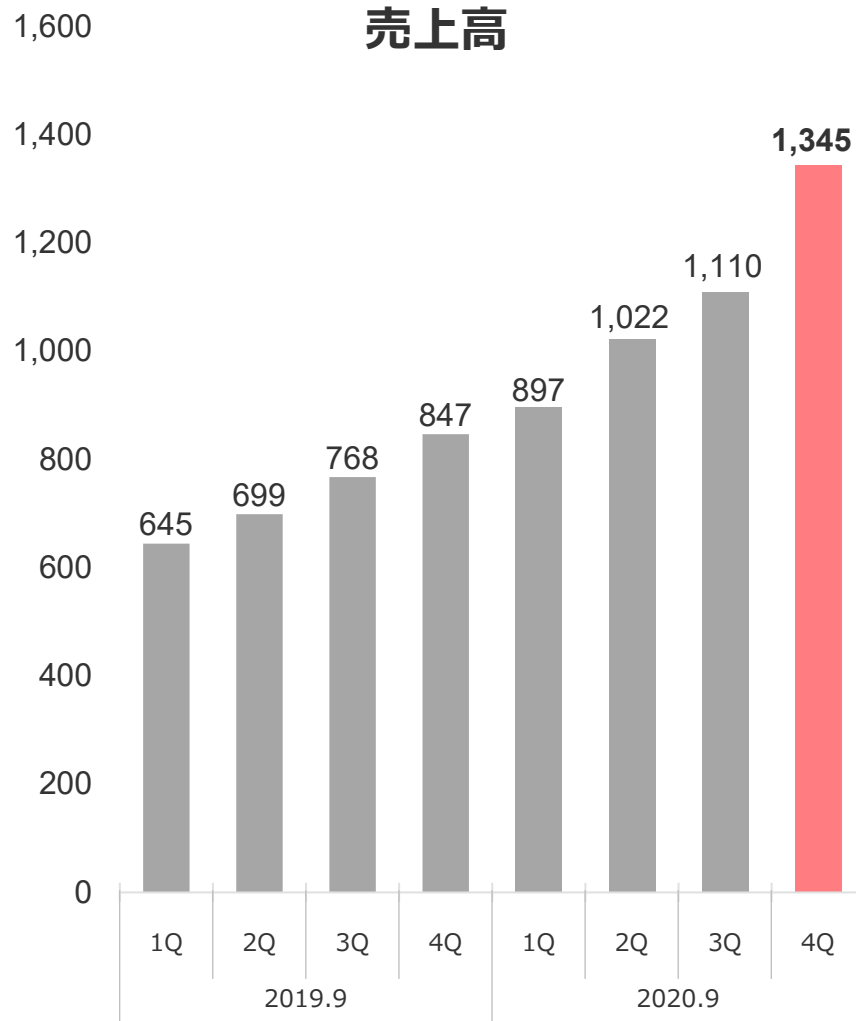
連結営業利益の推移（会計期間）

（単位：百万円）



マッチング 売上高・営業利益

(単位：百万円)

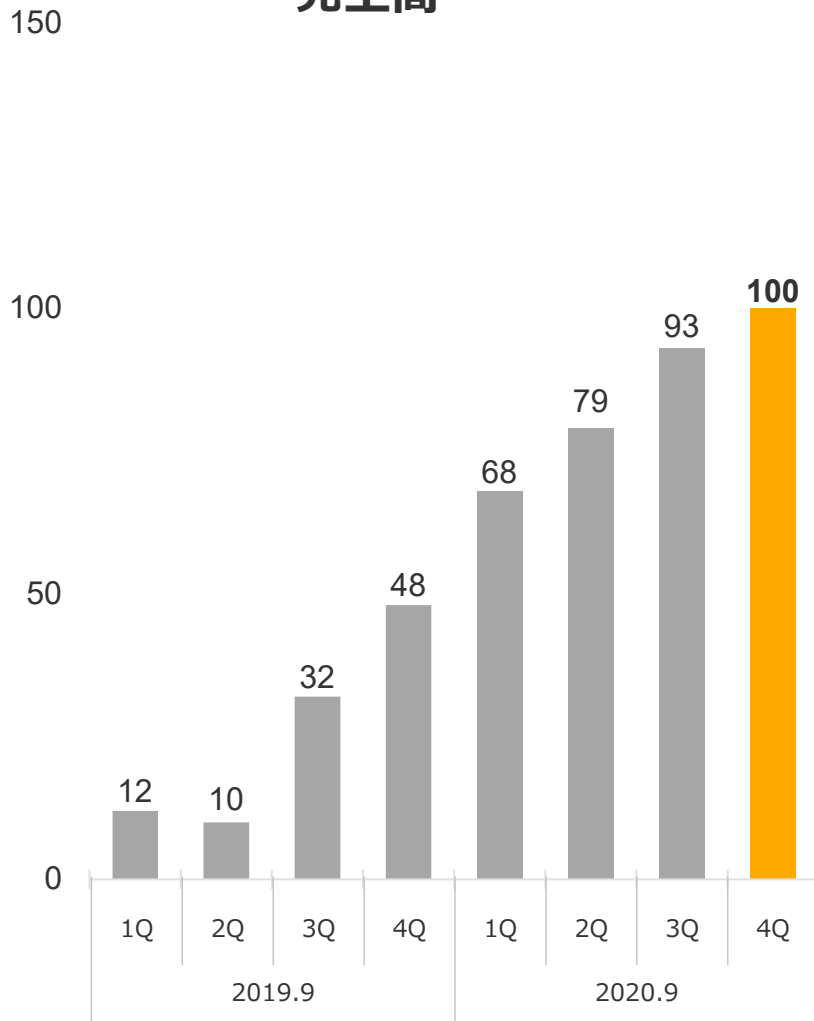


※2019.9月期の各四半期の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

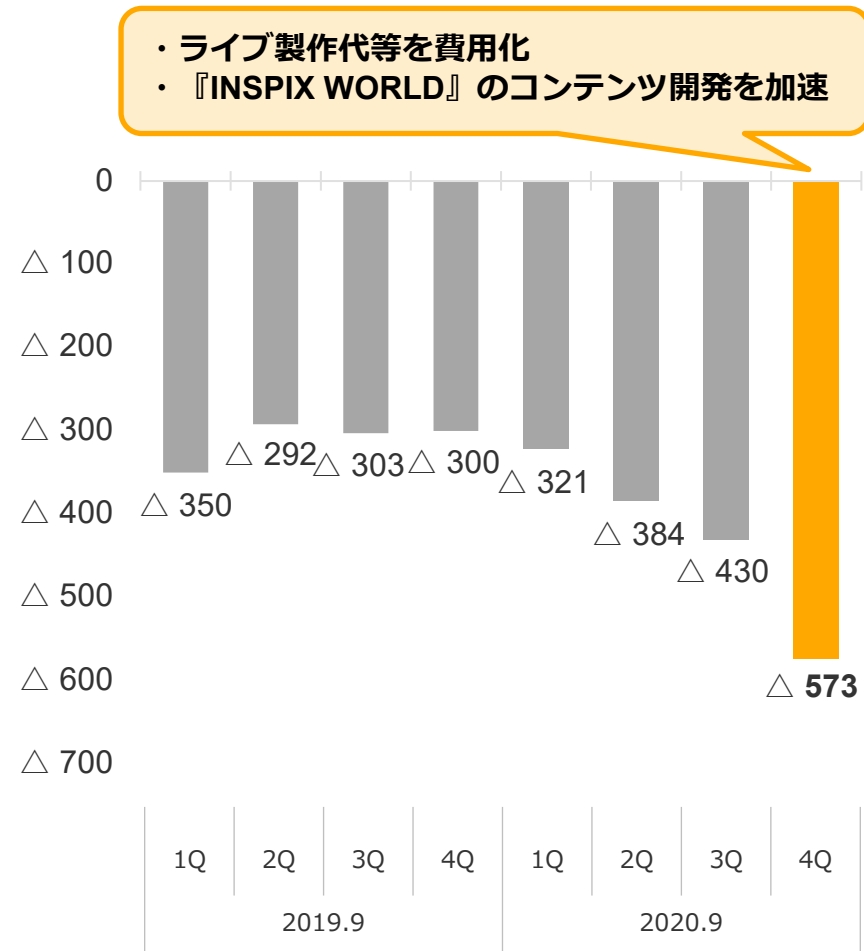
エンターテック 売上高・営業利益

(単位：百万円)

売上高



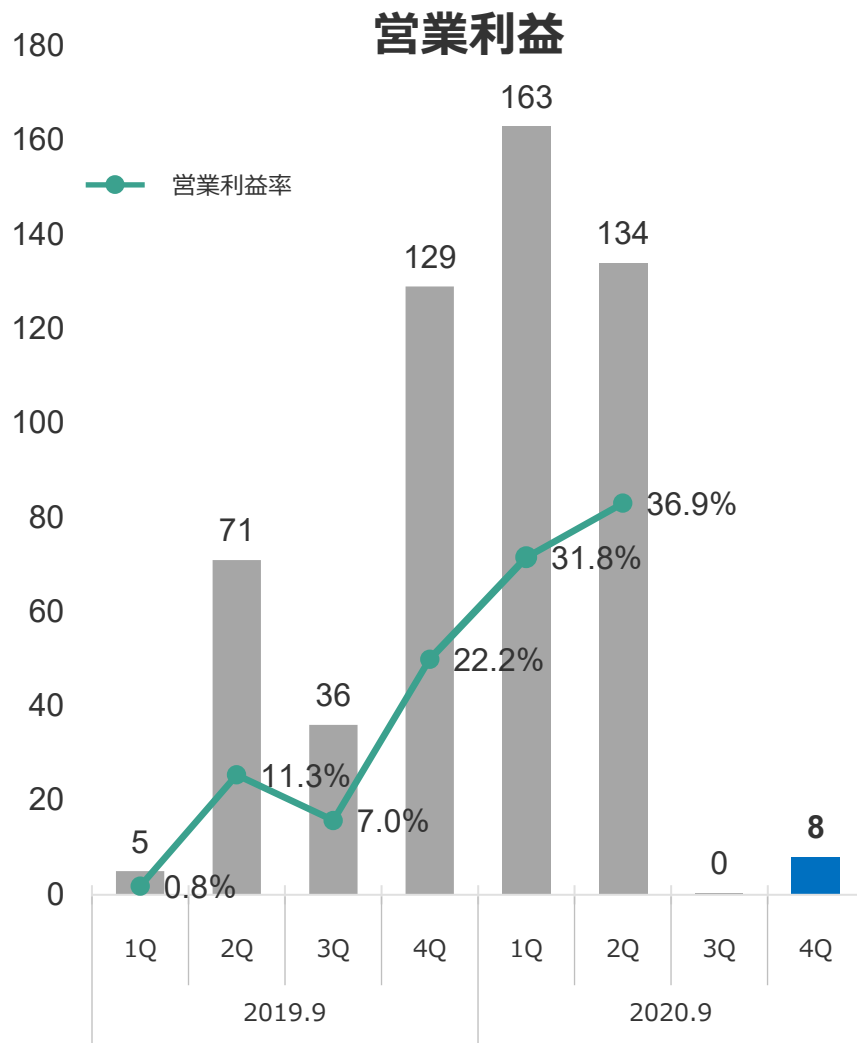
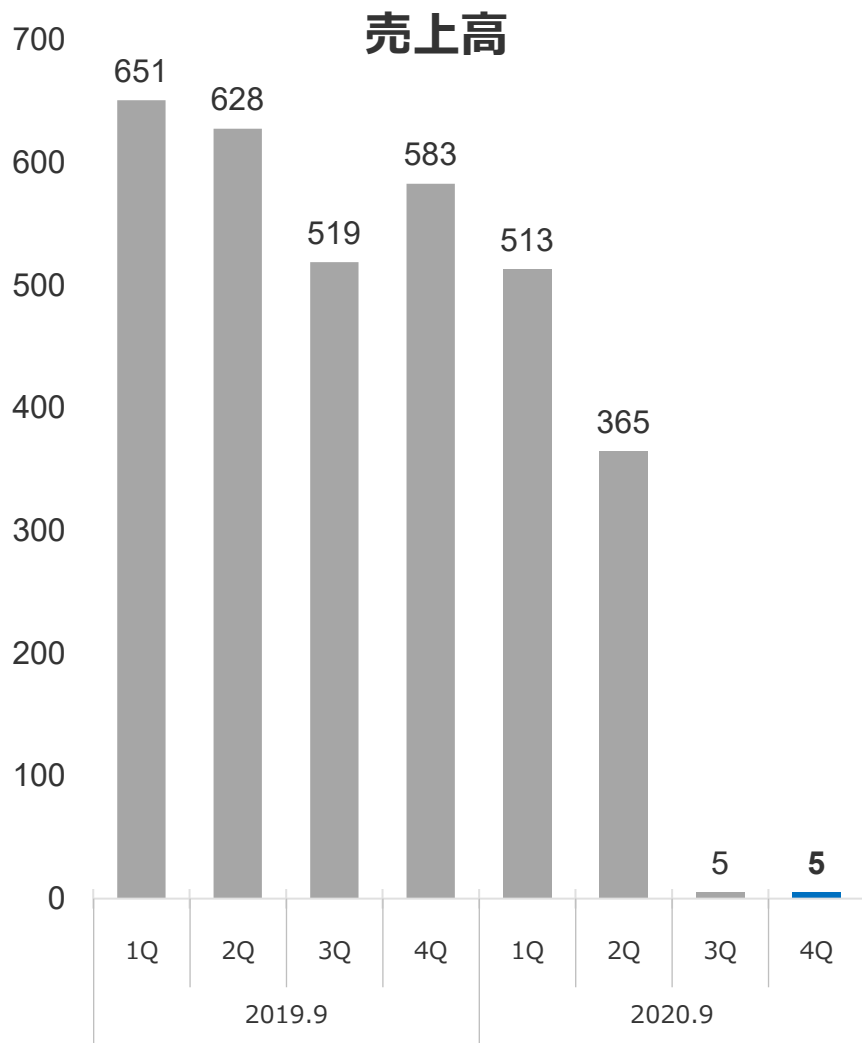
営業利益



※2019.9月期の各四半期の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

ゲーム 売上高・営業利益

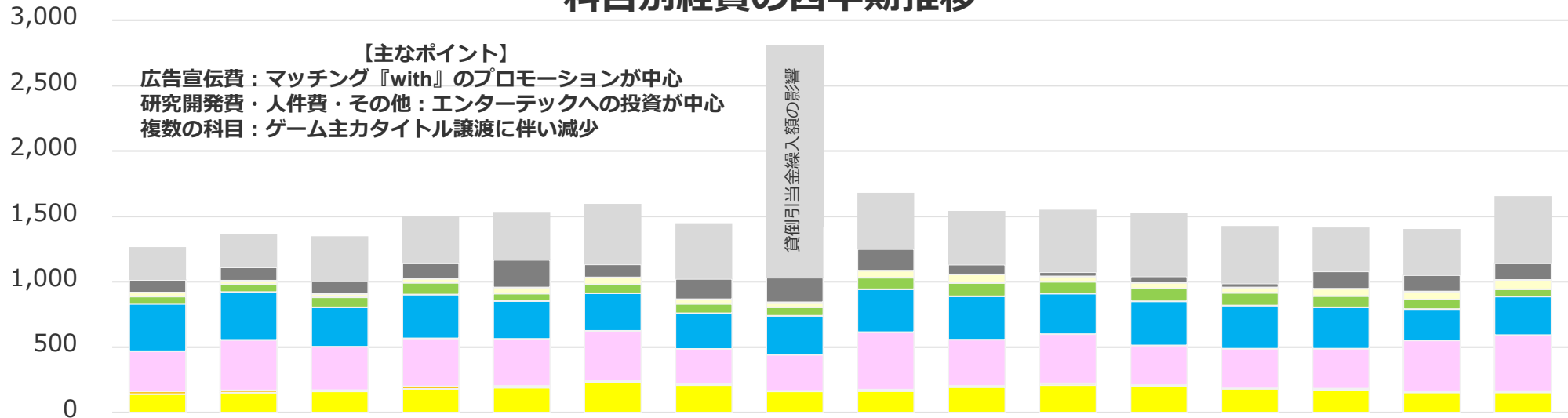
(単位：百万円) ※2020年3月2日付で主カタイトル譲渡が完了したため、下半期以降はこれらタイトルの売上・営業利益は含みません



※2019.9月期の各四半期の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。
※2020.9月期第4四半期の営業利益は、全社費用の按分比率の影響により、売上高を上回っています。

経費についての分析

科目別経費の四半期推移



(単位：百万円)	2017.9				2018.9				2019.9				2020.9			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
■ その他 ※1	252	253	344	357	366	462	426	1,784	430	411	477	485	440	336	352	511
■ 研究開発費	95	101	97	124	212	101	155	188	166	74	33	48	30	133	125	130
■ 支払報酬	31	29	25	30	46	52	35	37	53	65	41	43	42	55	63	71
■ 地代家賃等 ※2	55	58	77	91	58	68	73	65	89	103	90	99	98	86	72	55
■ PF手数料 ※3	364	367	301	336	289	288	272	298	327	331	310	338	329	318	240	295
■ 広告宣伝費	307	385	332	367	359	383	267	277	441	353	378	302	303	305	396	428
■ 採用費	20	17	10	18	14	12	10	3	10	9	13	7	2	9	2	11
■ 人件費	141	152	161	181	190	229	209	162	164	195	209	203	183	173	153	153

※1 「その他」には貸倒引当金繰入額を含んでいます。

※2 本社設備に係る減価償却費を含んでいます。

※3 Apple, Google等に対するプラットフォーム手数料です。

連結P/L (累計期間 2019.10~2020.9)

(単位：百万円)

	2019.9 累計 10~9月	売上高構成比 及び利益率	2020.9 累計 10~9月	売上高構成比 及び利益率	前年同期比	2020.9 通期計画 (修正計画)
売上高	5,571	100.0%	5,683	100.0%	102.0%	5,000
マッチング	2,961	53.2%	4,375	77.0%	147.8%	
エンターテック	104	1.9%	341	6.0%	327.7%	
ゲーム	2,383	42.8%	889	15.6%	37.3%	
その他	121	2.2%	76	1.3%	63.1%	
営業利益 (損失△)	△744	-	△232	-	-	
マッチング	736	24.9%	1,335	30.5%	181.3%	
エンターテック	△1,246	-	△1,710	-	-	
ゲーム	242	10.2%	306	34.5%	126.5%	
その他	△476	-	△163	-	-	
営業外損益 (損失△)	△122	-	△321	-	-	
経常利益 (損失△)	△867	-	△553	-	-	
特別損益 (損失△)	747		98		13.2%	
税引前当期純利益 (純損失△)	△119		△455		-	
法人税等	515		524		101.8%	
当期純利益 (純損失△)	△631	-	△980	-	-	

※2020.9月期1Qより報告セグメントの区分を変更しています。2019.9月期セグメント別の売上高及び営業利益は、監査法人による監査を受けていません。

※営業外費用において、株式会社ロビット及び株式会社Mellowに係る持分法による投資損失を計上しています。当第3四半期にロビット発行の新株予約権を引き受けたことにより、影響力が高まったことから、債務超過額の全額を取り込んだため、持分法による投資損失が267百万円に増加しています。

※特別利益は主に株式会社Mellowの増資に伴う持分変動利益192百万円、債務消滅益50百万円、関係会社株式売却益34百万円、特別損失は主に投資有価証券評価損160百万円を計上しています。

※エンターテックの主体が連結納税対象外の法人であり、連結納税の対象法人では課税所得が発生するため、法人税等が多額に発生しています。

連結P/L (会計期間)

(単位：百万円)

	2019.9 4Q会計 7~9月	売上高構成比 及び利益率	2020.9 3Q会計 4~6月	売上高構成比 及び利益率	2020.9 4Q会計 7~9月	売上高構成比 及び利益率	前年同期比	前四半期比
売上高	1,508	100.0%	1,231	100.0%	1,458	100.0%	96.7%	118.4%
マッチング	847	56.2%	1,110	90.1%	1,345	92.2%	158.7%	121.2%
エンターテック	48	3.2%	93	7.6%	100	6.9%	205.0%	107.7%
ゲーム	583	38.7%	5	0.4%	5	0.4%	0.9%	104.9%
その他	27	1.9%	23	1.9%	7	0.5%	27.4%	33.0%
営業利益 (損失△)	△21	-	△174	-	△199	-	-	-
マッチング	240	28.4%	288	26.0%	428	31.9%	177.9%	148.7%
エンターテック	△300	-	△430	-	△573	-	-	-
ゲーム	129	22.2%	0.4	8.6%	8	148.5%	6.2%	1,812.0%
その他	△91	-	△33	-	△63	-	-	-
営業外損益 (損失△)	△38		△155		△69		-	-
経常利益 (損失△)	△60	-	△330	-	△269	-	-	-
特別損益 (損失△)	△146		△8		38		-	-
税引前四半期純利益 (純損失△)	△206		△338		△230		-	-
法人税等	66		83		152		228.4%	181.3%
四半期純利益 (純損失△)	△272	-	△422	-	△382	-	-	-

※2020.9月期第4四半期のゲーム事業の営業利益は、全社費用の按分比率の影響により、売上高を上回っています。

02

事業トピックス

今期の主な事業の取り組み・状況

マッチング

- ・ 『with』 成長加速中

エンターテック

- ・ 「初音ミク GALAXY LIVE 2020」 開催
- ・ 『INSPIX WORLD』 開発中
- ・ その他他社IP VRライブ開発中

ゲーム

- ・ 主カタイトルの譲渡&新規開発凍結

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

主な事業への影響

マッチング

- ・事業KPIに大きな変化無し
⇒アクティブユーザー数等の数値は順調に推移
⇒事業進捗・業績影響は軽微

エンターテック

- 【IP関連】
 - ・新型コロナウイルスの影響がもっとも大きい部門
⇒感染再拡大によりオフラインイベント延期・中止多数
⇒今期業績への影響は微減だが、内部目標としていた成長スピードの実現は難しい状況
- 【プラットフォーム関連】
 - ⇒在宅勤務の場合『INSPIX WORLD』の開発で生産性が低下する工程があることを認識

その他

- ・医療機関向けSaaS『FOREST』導入先の事業成長が鈍化したものの、規制緩和等により、オンライン診療利用患者様数は増加

新型コロナウイルス感染症長期化前提の事業運営にシフト済み

注) あくまで現時点における状況です。事態の収束時期など不確定要素が多いため、今後、事業・業績への影響がある場合は速やかにお知らせします。



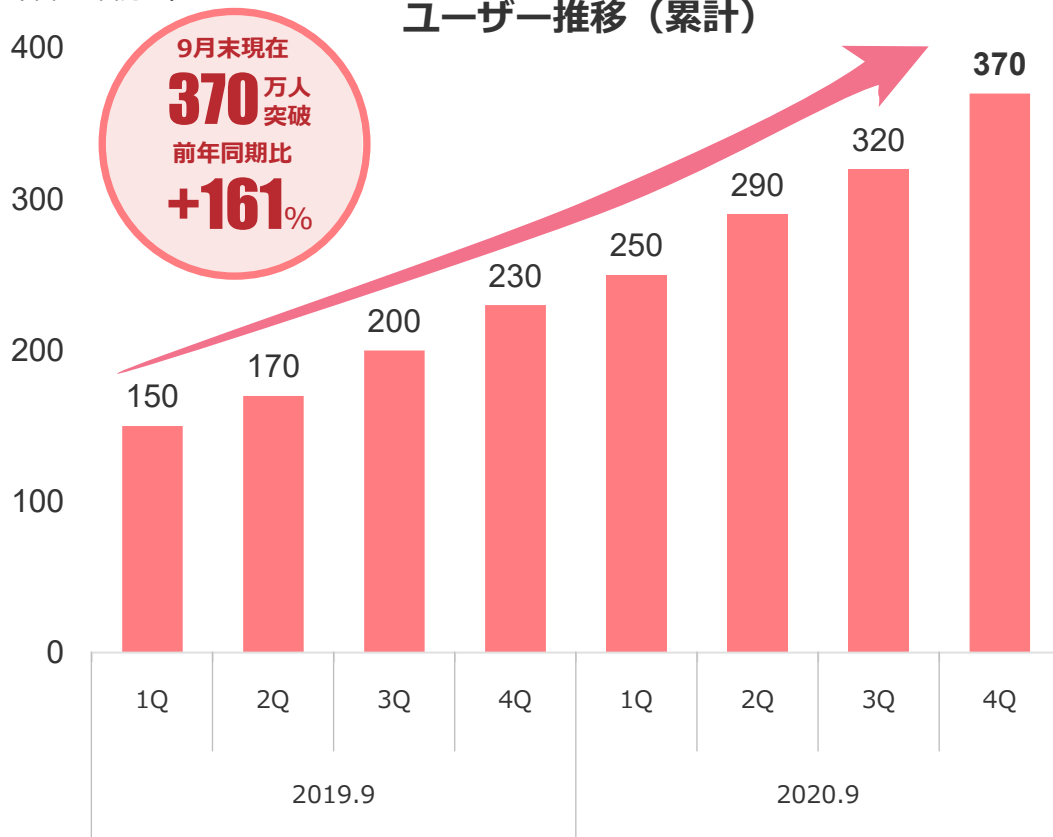
マッチング

『with』

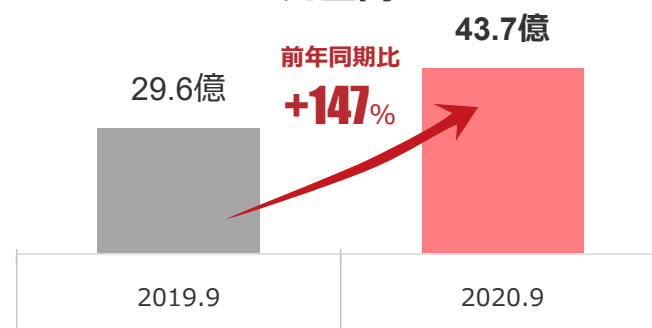
口コミによる入会も増加し力強く事業成長

(単位：百万人)

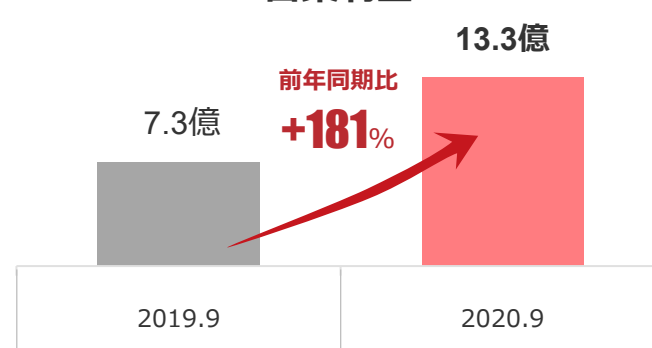
ユーザー推移 (累計)



売上高



営業利益

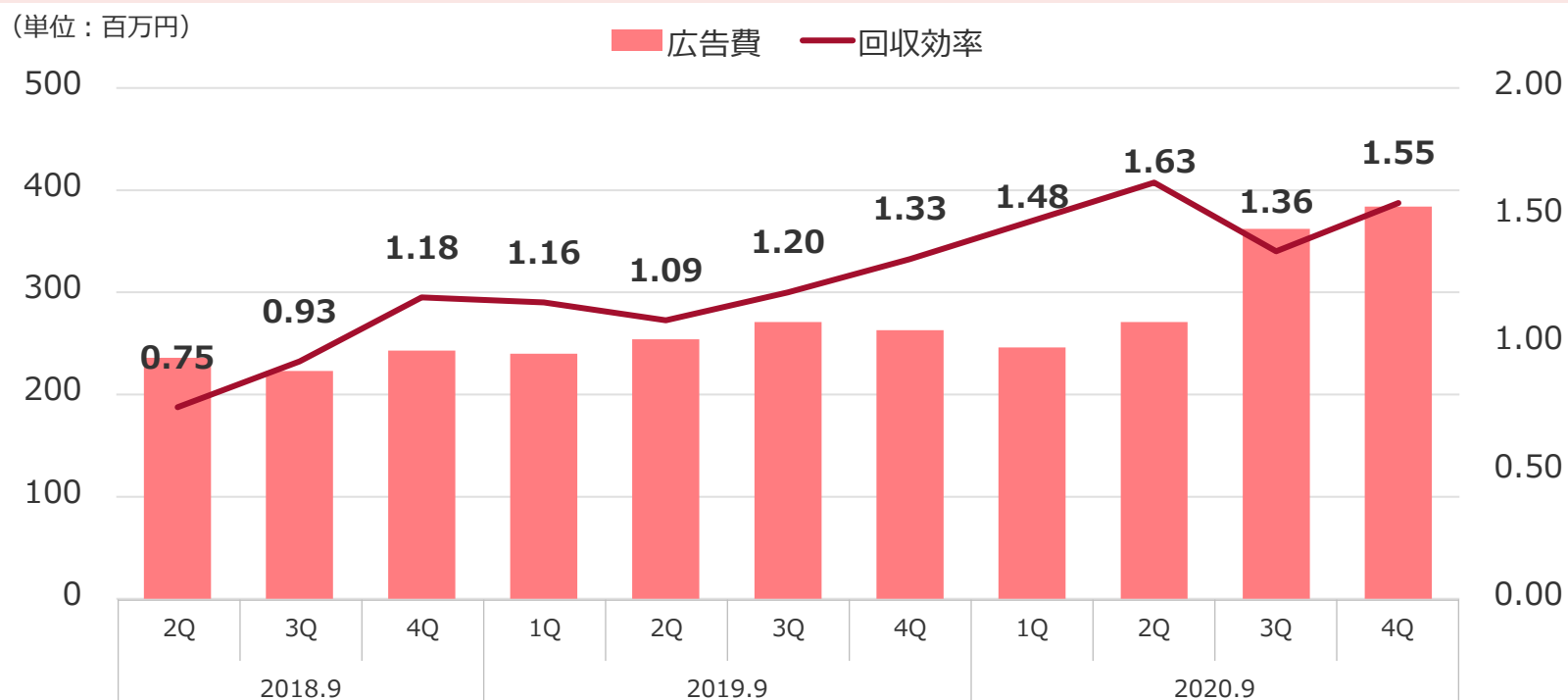




マッチング

『with』

3Qから広告予算増枠も、回収効率大きく悪化せず、大きな成長余力を残す



十分な利益を確保できる回収効率を基準値(= 1)と設定。上記グラフの水準で広告費を投下しても回収効率が基準値を下回らない運用に成功している。※通常広告費が多ければ多いほど回収効率は悪化しやすい。

さらに、昨年から内部KPIが改善し基準値を大きく上回る回収効率となっている。

過剰に回収効率がいい状態は、自らの成長速度にブレーキをかけているのに等しく適切ではないため3Qから広告予算増枠した。



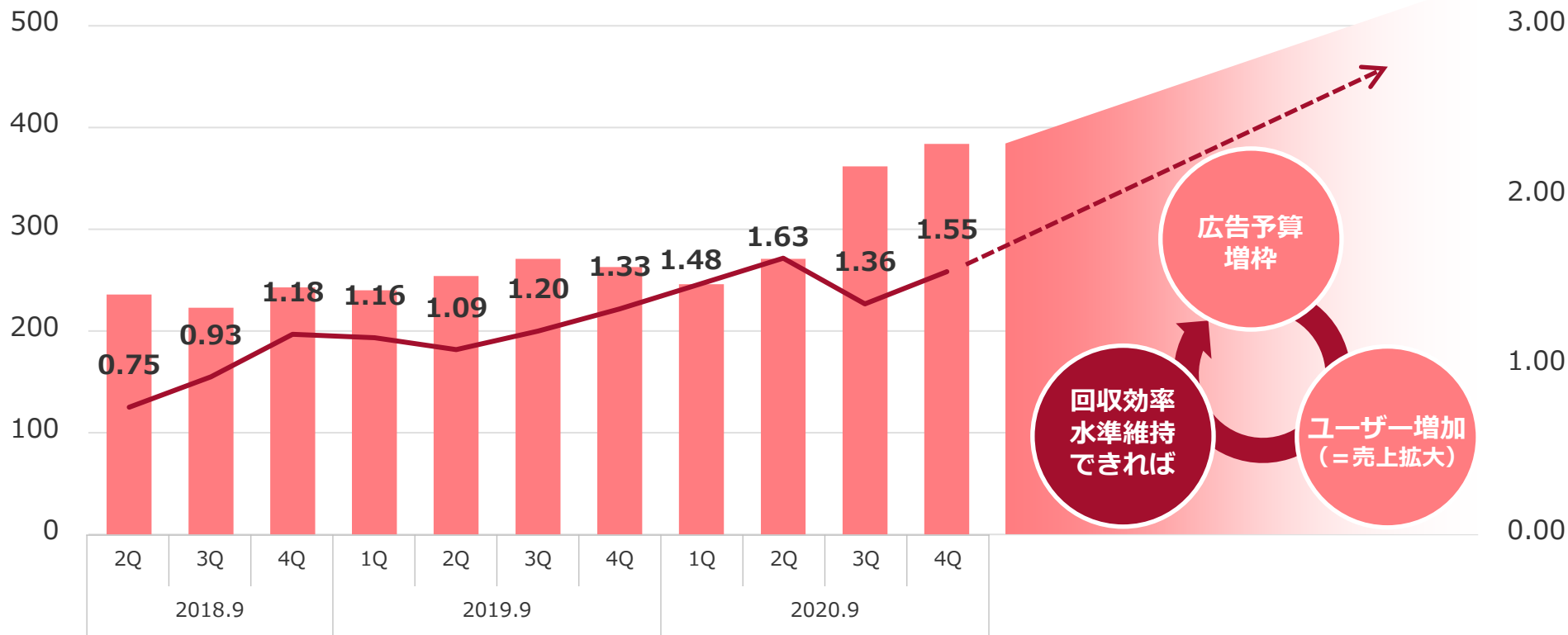
マッチング事業の戦略

『with』

2021.9月期は単月営業利益2億円超を目指します

(単位：百万円)

■ 広告費 — 回収効率



エンターテック

投資比率

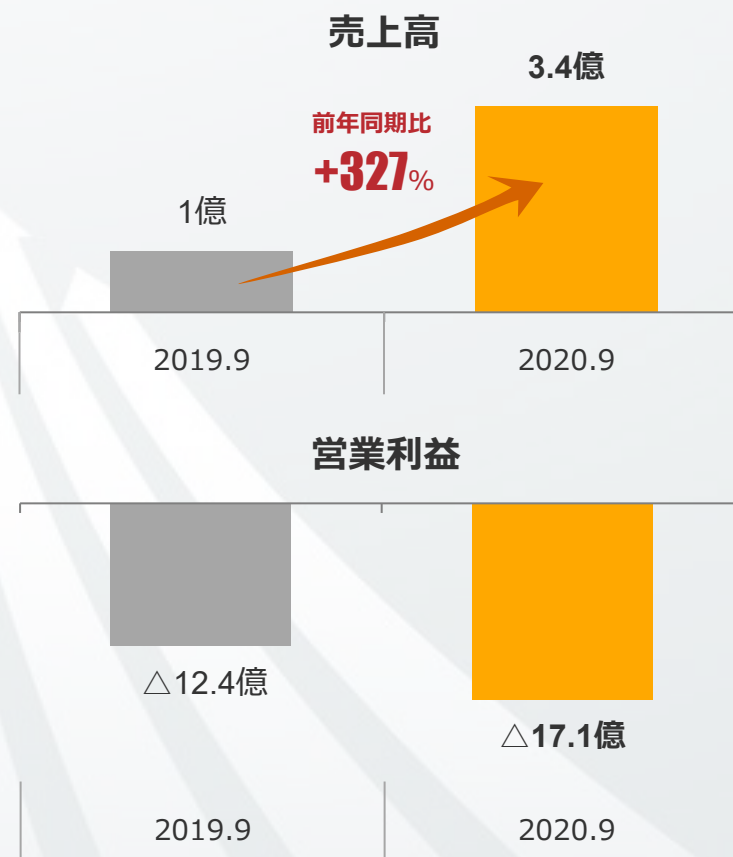
プラットフォームとIPに均等に投資

プラットフォーム



×

IP



ファン（フォロワー）数をKPIとしてモニタリング

自社関連IPのSNS等累計フォロワー数※



新型コロナウイルスの影響で成長鈍化も、
従来とは違う手法でのファン増加策を実施

※SNS等累計フォロワー数：Twitter、Instagram、YouTube、ファンクラブ、その他のフォロワー数+登録数です。

※SNS等累計フォロワー数は2020年10月末時点のものです。

エンターテック

バーチャルライブプラットフォーム

「初音ミク GALAXY LIVE 2020」開催
2日間開催での動員数：1.4万人



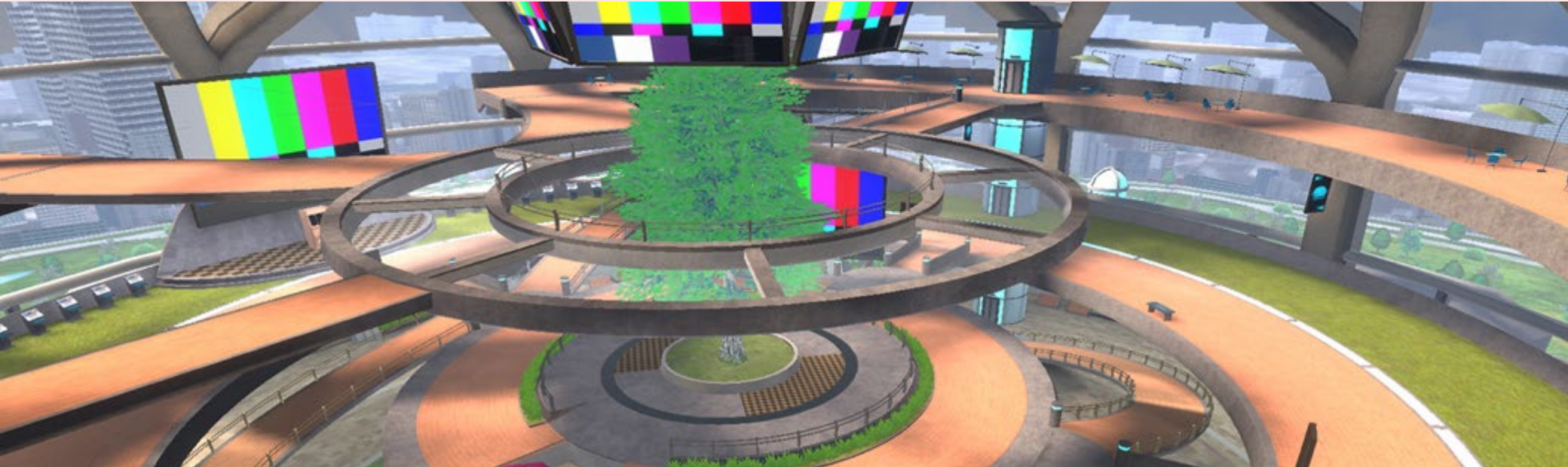
次回、「初音ミク GALAXY LIVE 2021」の開催も決定・準備中
『INSPIX WORLD』を活用した「MIKU WORLD」がオープン

※具体的な内容につきましては、版元様の公式SNS等から順次ご案内します。
※当社からの情報発信は版元様との間で、戦略を確認のうえ発信有無を検討します。
※上記はあくまで現時点における予定であり、内容・時期等を確認するものではありません。
今後様々な理由により変更になることがあります。

エンターテック

ライブ特化型仮想空間SNS『INSPIX WORLD』

新型コロナウイルスの影響を考えながら、工程管理を徹底



VR技術・仮想空間プラットフォームを取り巻く環境の変化を見極めながら
ポジティブに戦略を変化させ、より理想的な体験を実現させる

できる限り早く皆様に体験いただけるよう尽力中

プラットフォーム



『INSPIX WORLD』
ローンチ・普及
×
参画パートナー拡大

バーチャルライブ
マーケットの確立

事業成長

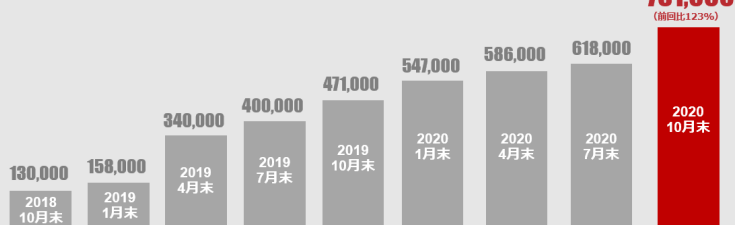
売上拡大ポイント



収益が出る
構造の確立

IP（自社関連）

自社関連IPのSNS等累計フォロワー数※



様々な手法による
ファンの拡大

IPの人気上昇
ファン増 = 売上増

売上拡大ポイント



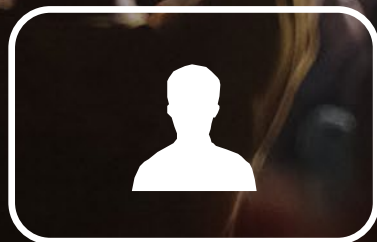
ファン数の増加

エンターテック

その他

新プロジェクト オンライン接近イベントシステム『PH』（仮）

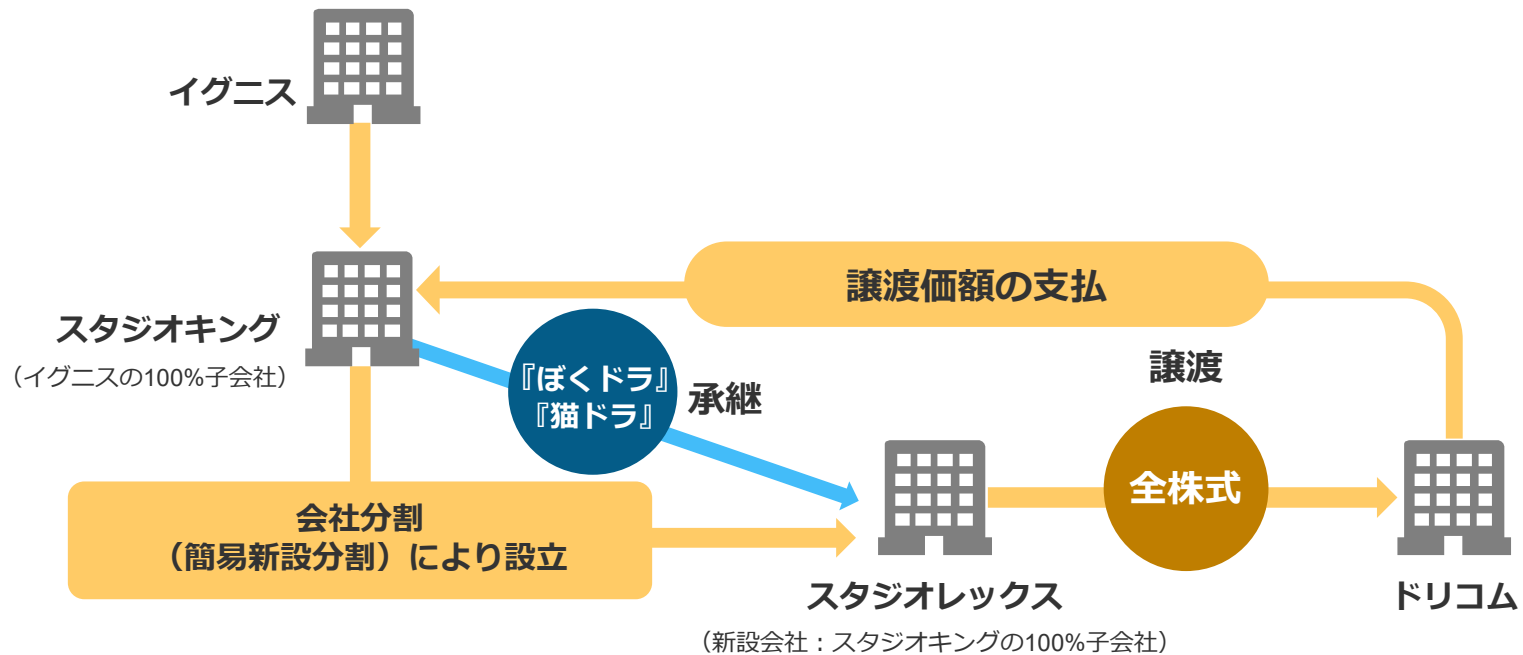
新型コロナウイルスの影響により開発遅延が発生



手始めに、自社IPで試験運用を開始予定（時期未定）

ゲーム

ゲーム事業（『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』）の譲渡完了

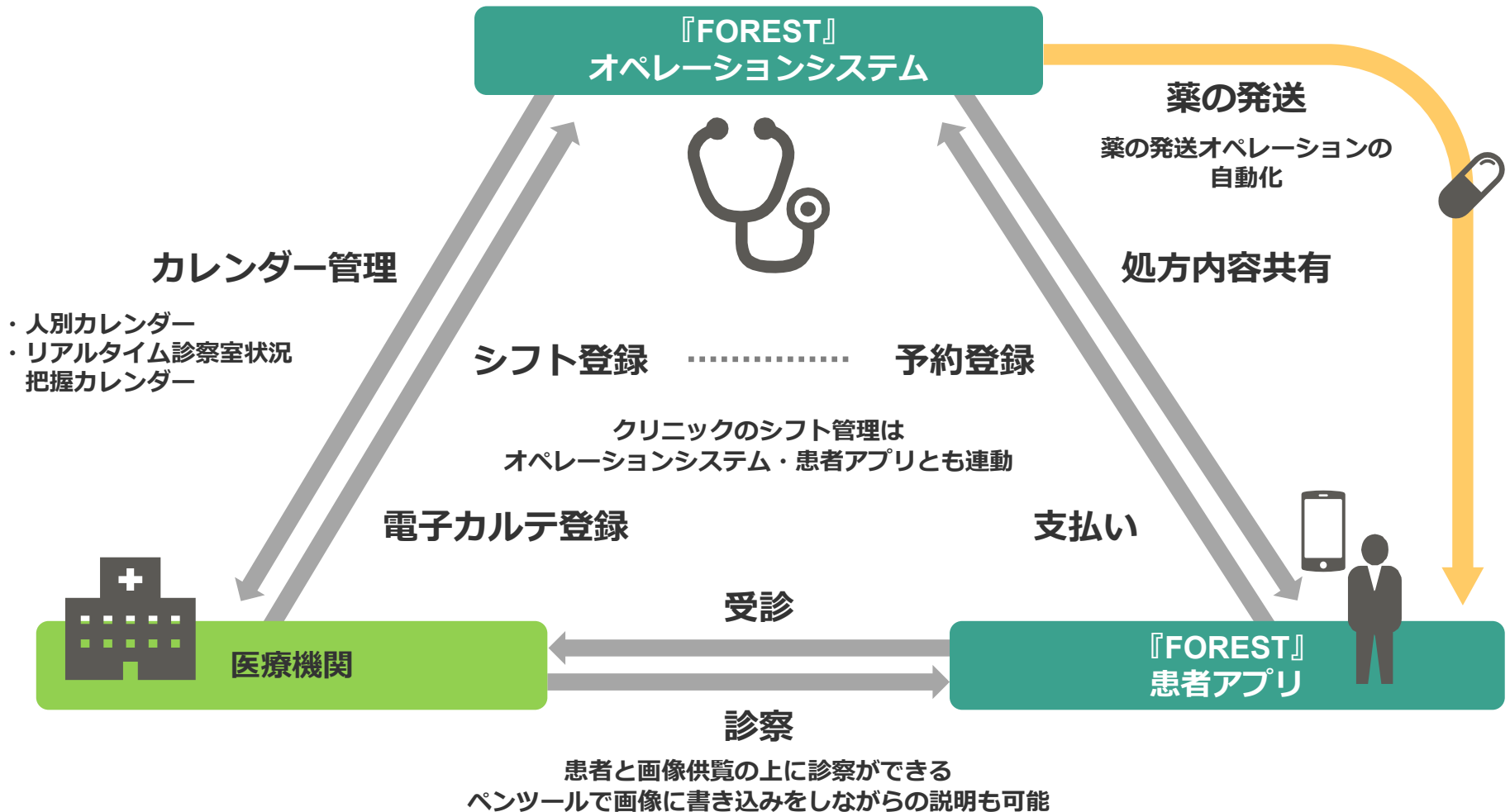


現在の
状況

譲渡に伴い発生した金融負債の一部が消滅
債務消滅益50百万円を特別利益として計上

その他・医療機関向けSaaS

オンライン診療対応の医療機関向けSaaS『FOREST』



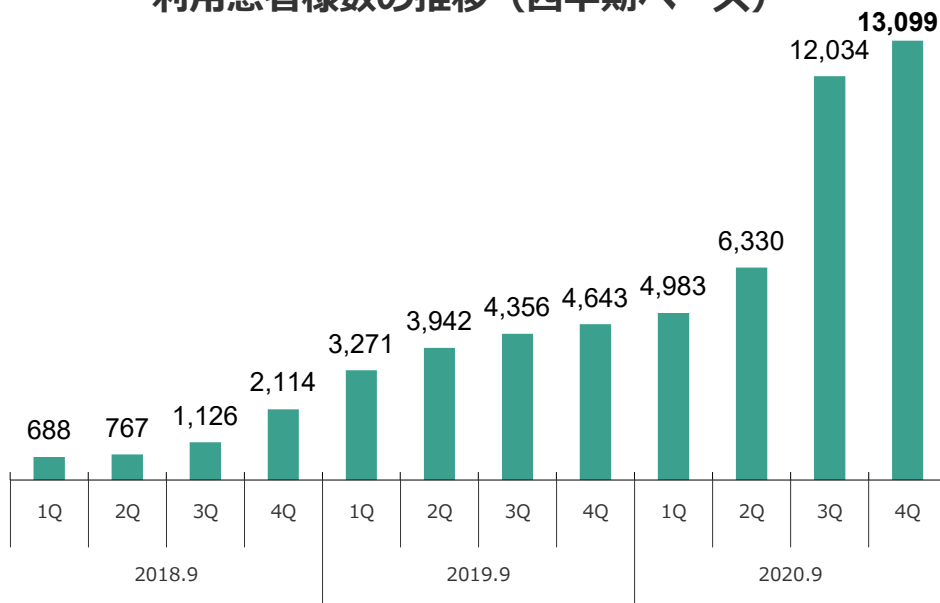
その他・医療機関向けSaaS

オンライン診療対応の医療機関向けSaaS『FOREST』

『FOREST』急成長

『FOREST』内のオンライン診療システム

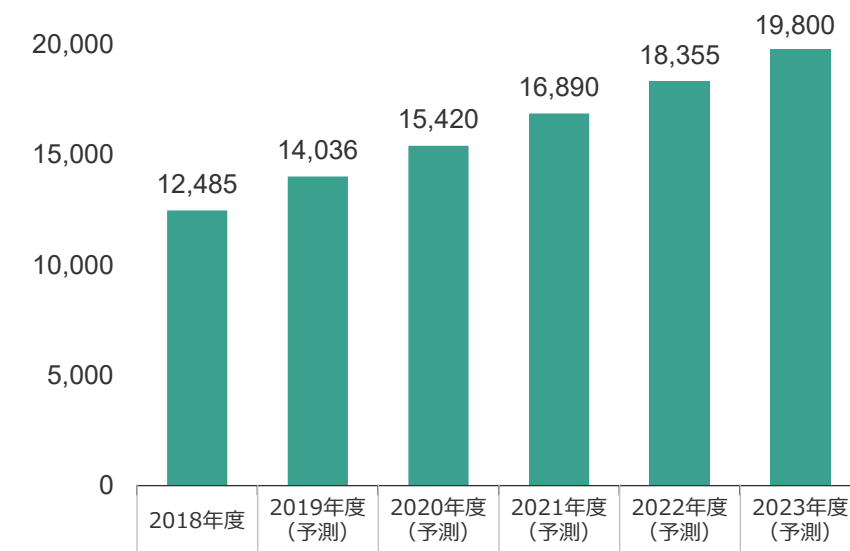
(単位：人) 利用患者様数の推移 (四半期ベース)



出典：当社データベース

国内医療ICT市場規模推移・予測

(単位：百万円)



注1. 事業者売り上げベース

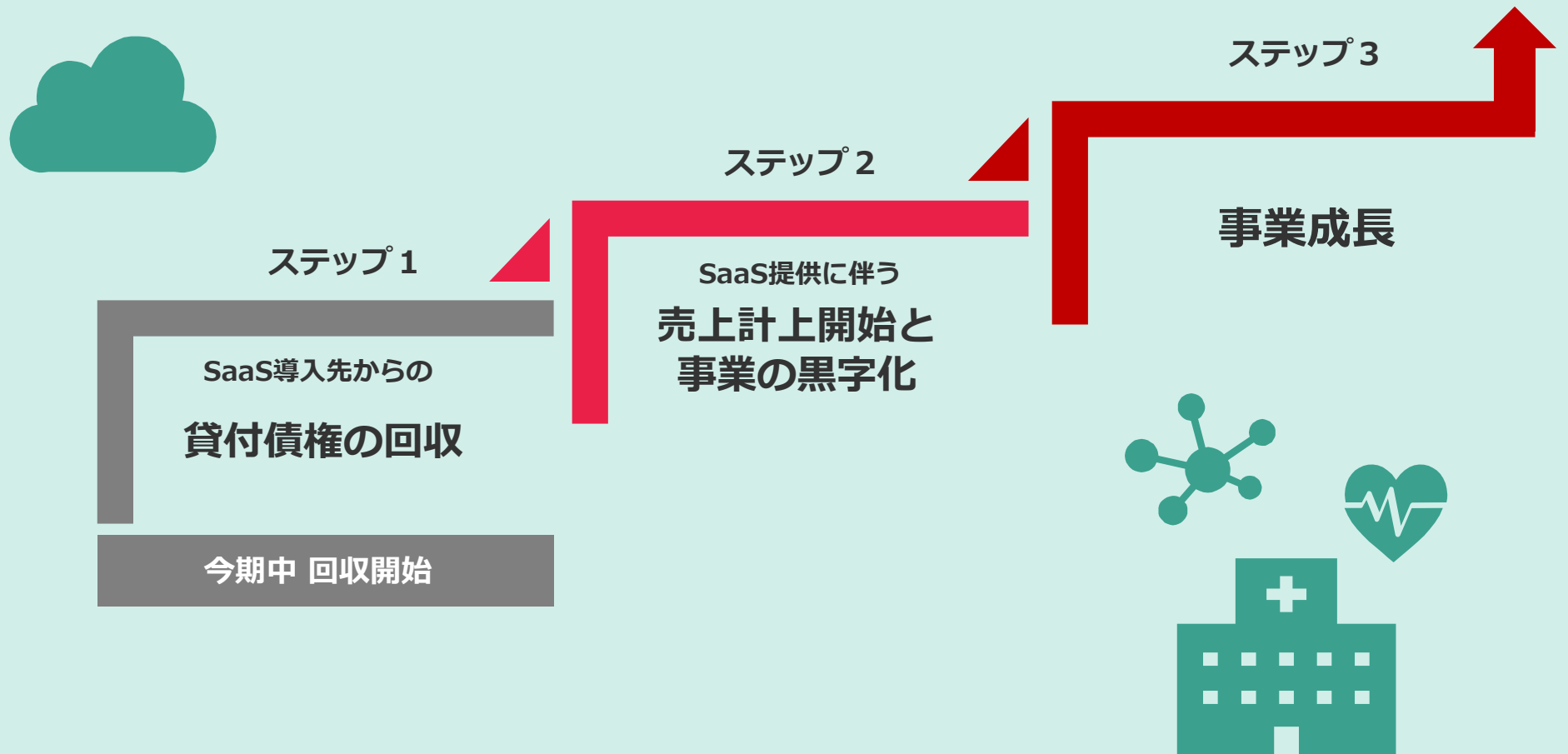
注2. 2019年度以降予測値 (2020年3月現在)

出典：株式会社矢野経済研究所「医療ICT市場に関する調査 (2020年)」 (2020年4月17日発表)

初診からのオンライン診療が2020年4月に解禁

その他（医療機関向けSaaS）の戦略

医療機関向けSaaSビジネスにおける収益化までのステップ



持分法適用関連会社の情報

AI技術を活用した外観検査装置 及びピッキングソリューション

現場導入進む



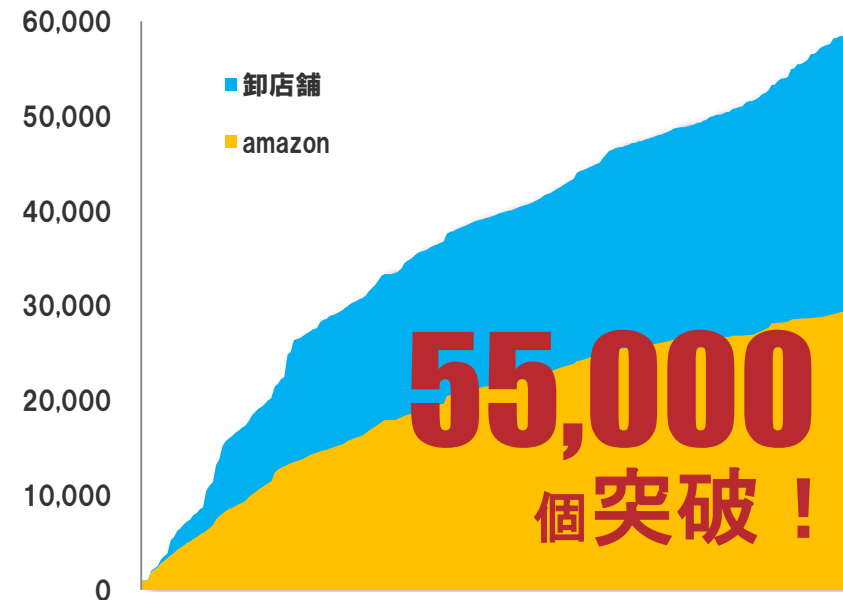
※写真は株式会社ロビットのオフィス・工場です。

販売個数は堅調に増加 各種メディアでも多数紹介



単位：個

累計販売個数



※ 『mornin' plus』を展開する株式会社ロビットは持分法適用関連会社です。
※ 『mornin'』 + 『mornin' plus』販売個数推移（週ベース累計）2020年9月末時点。

コンセプトアップデートにより名称変更

『TLUNCH』



『SHOP STOP』



なんでもない場所を、うれしい場所に。

『SHOP STOP』構想の詳細は、Mellow社のHPをご参照ください。

※ 『SHOP STOP』を運営する株式会社Mellowは持分法適用関連会社です。

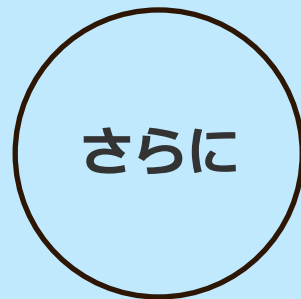
03

2021.9期通期計画

中期計画の考え方

中期計画のガイダンスは行わない方針

主な理由



さらに

コロナウイルス
感染症拡大の影響



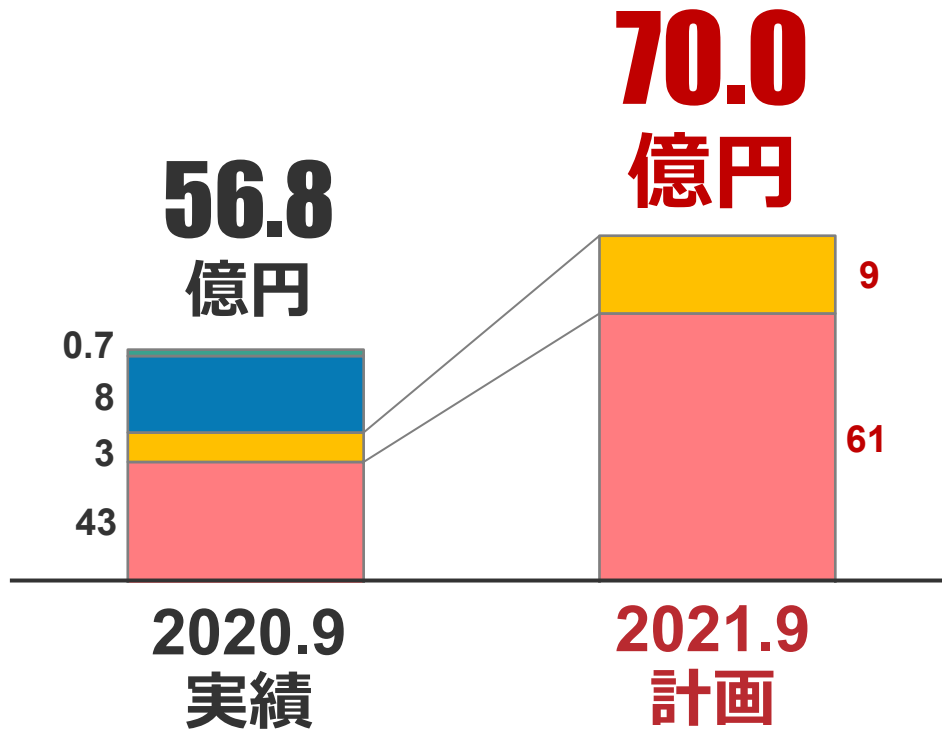
先行きの
不透明感が多く存在

大きく変化する内外環境に対し、柔軟に対応し続ける

2021.9期計画

過去最高連結売上高の計画

連結売上高



連結営業利益



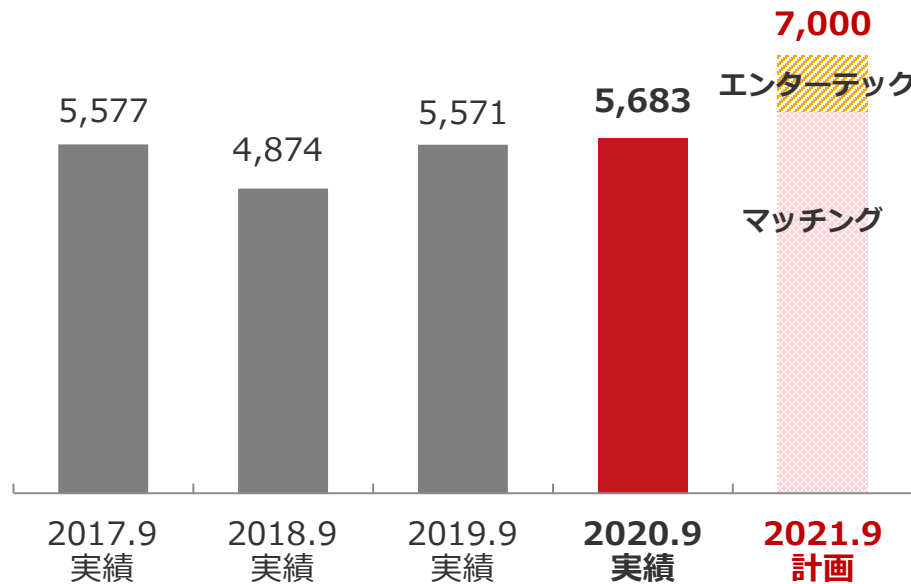
※記載の売上高計画は、現時点における情報に基づいた計画であり確約するものではありません。今後、様々な事象により変動する可能性があります。

2021.9期計画

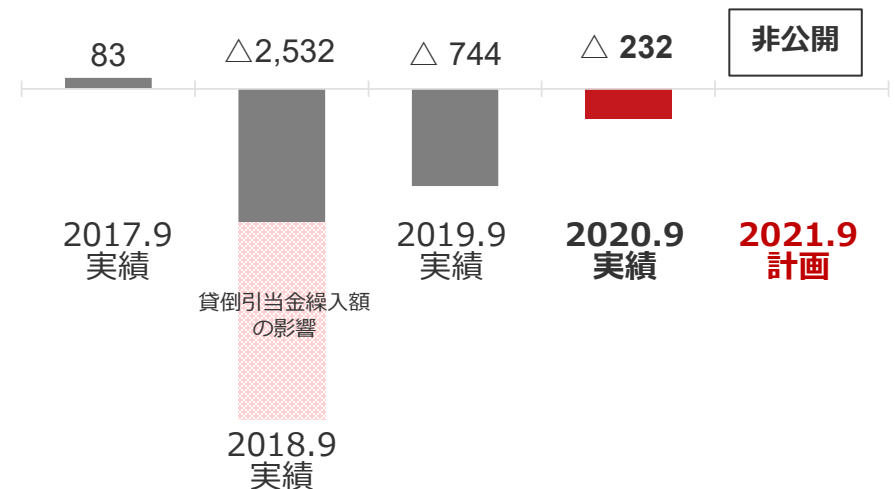
連結売上高・連結営業利益の実績と計画

マッチング事業とエンターテック事業のうち、KPIが明らかなプロジェクトを中心に事業数字を構成
不確定要素が多い『INSPIX WORLD』の売上はかなり保守的に予測

連結売上高 (単位：百万円)



連結営業利益 (単位：百万円)



※記載の売上高計画は、現時点における情報に基づいた計画であり確約するものではありません。今後、様々な事象により変動する可能性があります。

主な事業の今後の戦略サマリー

マッチング

広告費を増枠し、さらに売上・利益ともに高い成長率を目指す

エンターテック (プラットフォーム)

『INSPIX WORLD』をローンチさせ、事業拡大と早期マネタイズを目指す

その他 (医療機関向けSaaS)

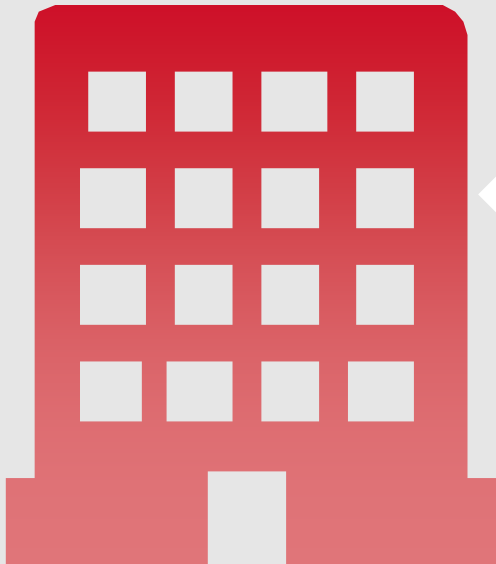
SaaS導入先の医療機関から早期債権回収により事業の黒字化を目指す

04 / その他

グループ組織再編

連結子会社 6 社の吸収合併完了（2020年10月1日）

IGNIS



存続会社



株式会社 IGNIS APPS



株式会社 スタジオキング



ALTR THINK 株式会社



株式会社 イグニスメディカルケアソリューションズ



株式会社 ラップランド



株式会社 アイシー

吸収する連結子会社（消滅会社）

今後の資金調達に関する方針、財務戦略等

- ・ マatching事業を中心に財務体質を改善
- ・ 2020年は既存のファイナンススキーム（ドイツ銀行割当新株予約権）を除き、新たに希釈化を生じさせるスキームを組まない
- ・ 2021年以降の資金調達に関する方針は当社の事業進捗・財務状況、資本市場の状況等をみながら、慎重に決定する

4Q決算発表まとめ

当期業績

- マッチング事業が大幅貢献
- エンターテック事業の投資加速

今後の 注目ポイント

- 『INSPIX WORLD』のアライアンス・開発進捗
- 他社IPによるVRライブの開発・実施
(「初音ミク GALAXY LIVE 2021」を含む)
- 自社IPの成長
- オンライン接近イベントシステム『PH』
- 医療機関向けSaaS『FOREST』

その他

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を最小限にする施策



「次のあたりまえを創る。何度でも」

05

**参考資料
(Appendix)**

經營方針

セグメント情報

事業環境の変化等に対応するため経営管理手法を見直したことにより、2020年9月期1Qより報告セグメントの区分を変更

変更前	変更後
スマートフォンアプリ	マッチング 恋愛・婚活マッチングサービス『with』
	エンターテック 音楽体験の、次のあたりまえを創る ①バーチャルライブアプリ『INSPIX LIVE』（プラットフォーム） バーチャルライブプラットフォームの企画・開発・運営 ②タレント『VOYZ BOY』『学芸大青春』等 IP展開（発掘・育成・プロデュース）
	ゲーム スマートフォン向けゲーム&ブラウザゲーム 『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』等
	その他 適性検査クラウド『Jobgram』 医療機関向けSaaS『FOREST』 VR医療『うららかVR』 その他、報告セグメントに含まれない事業セグメント

※ 『ぼくとドラゴン』『猫とドラゴン』は2020年3月2日をもって株式会社ドリコムに事業譲渡いたしました。

2020年までの事業方針

「安定感のある事業ポートフォリオを構築」

爆発力のある事業の推進

積み上げ型の強固な事業基盤

イグニスの成長戦略

マッチングとエンターテック
の成長にご注目ください

コア
事業

当面は
エンターテック

爆発力

積み上げ型の事業と爆発力のある事業
それぞれのコアとなる事業に
集中的に経営資源を投下し、
成長・拡大を目指す

積み上げ型

コア
事業

当面は
マッチング

各事業の方針

マッチング

恋愛・婚活マッチングサービス
独自機能を次々に投下する。

エンターテック

プラットフォームと自社IPの企画・開発・運営
音楽体験を変える。
コンテンツとシステム双方を保有する垂直統合型事業を目指す。

その他

転職エージェントサービス、医療機関向けSaaS、VR医療等
技術力と創造力を組み合わせることで
魅力的な新規事業を創造し続ける。

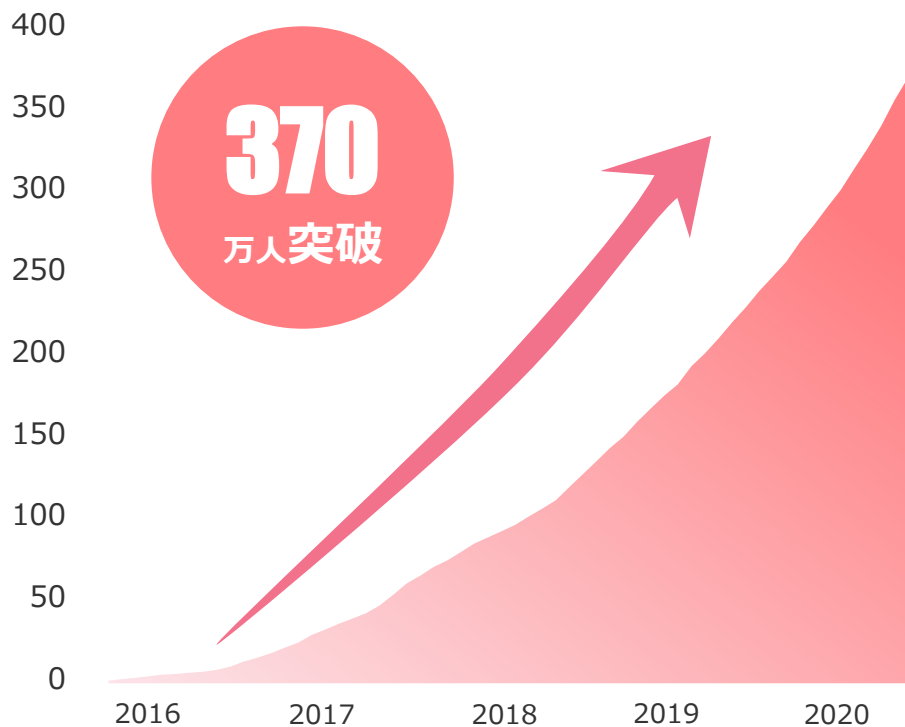
事業展開



マッチング

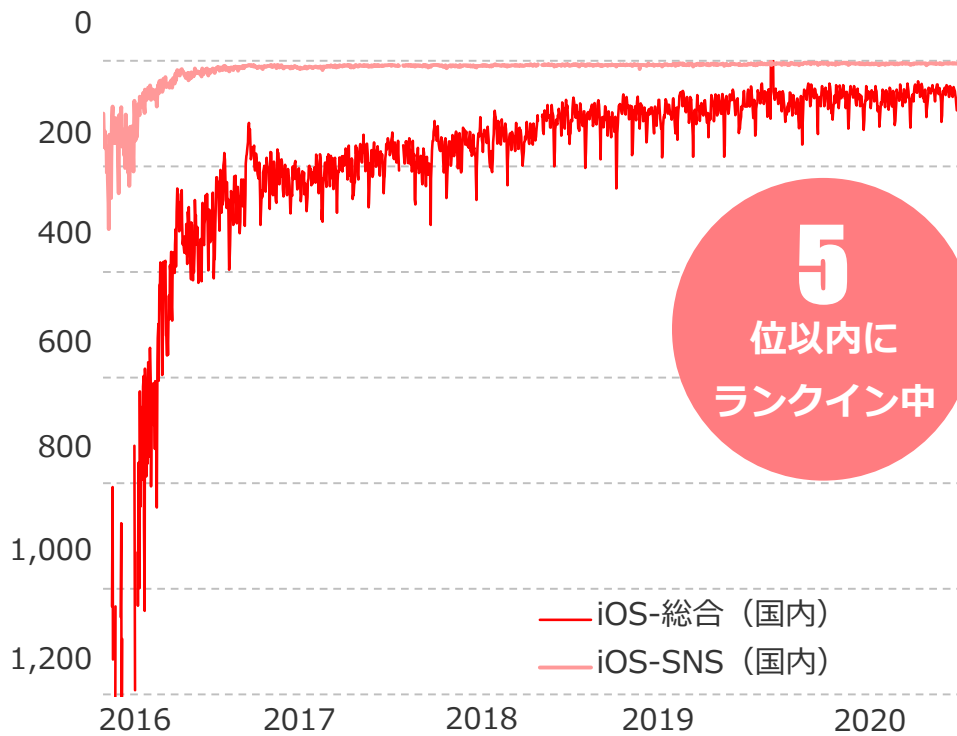
『with』ユーザー数と売上ランキングの推移

ユーザー数推移（累計）



単位：万人

売上ランキング推移



単位：位

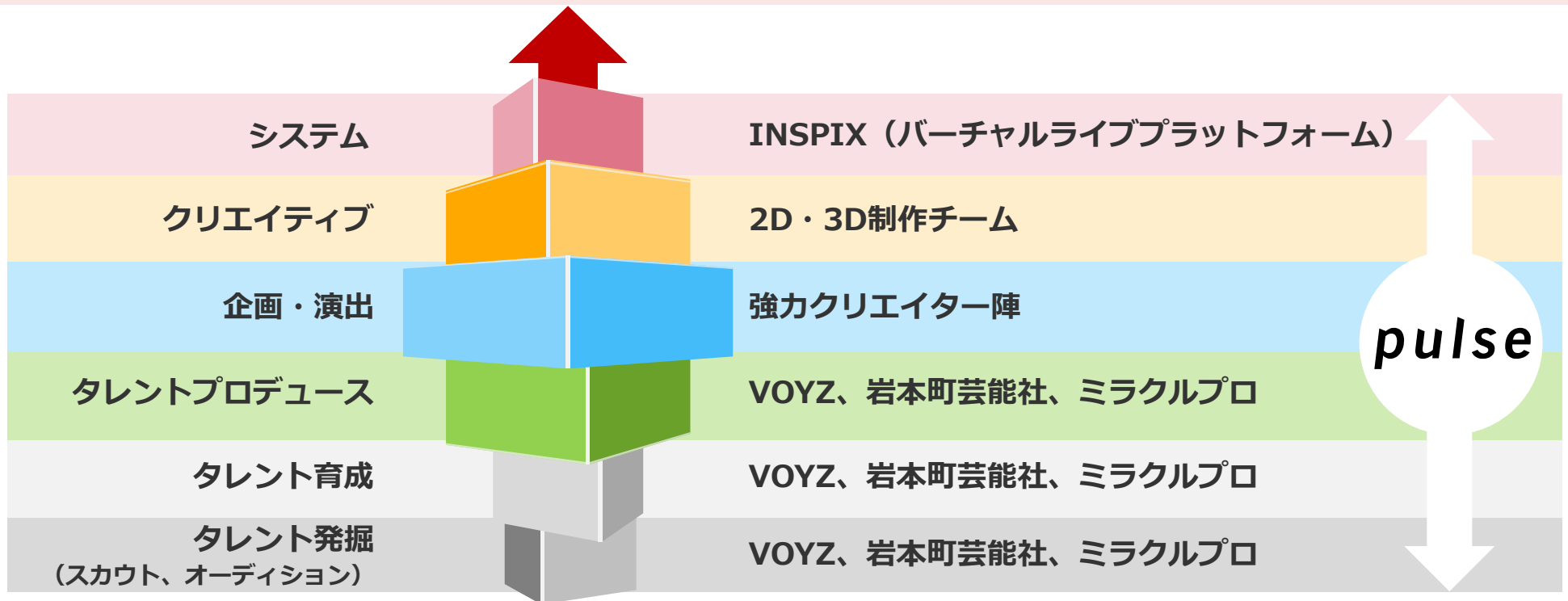
出典：App Annie

※ 『with』のユーザー数推移は2020年9月末時点。
 ※ 『with』の売上ランキング推移は2020年10月末時点。

エンターテック

理想的な事業構造

音楽体験の、次のあたりまえを創る



垂直統合型の事業構造とすることで
バーチャルライブの普及を推進 (プラットフォームを強化)

エンターテック

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開



INSPIX WORLD

『INSPIX LIVE』のアップデート版

豊富な機能



アバター機能

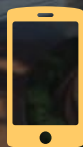


フレンド機能



特設ワールド

マルチデバイス対応



多彩な初期開発パートナー



「VRでの音楽ライブ体験+VRソーシャル機能」で進化する『INSPIX WORLD』が
音楽体験の、次のあたりまえを創る

エンターテック

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開 Virtual Live Platform『INSPIX』の競争力

3つの特徴と2つの独自性で、現状のバーチャルライブがかかえる課題を解決

特



スマホ対応
〔どこからでも
手軽に参加〕

特



ライブ感溢れる
リアルタイム性

特

同時接続数



53
万人突破

圧倒的な
接続上限数

独



優れた人財
〔エンジニア
プロデューサー〕

独

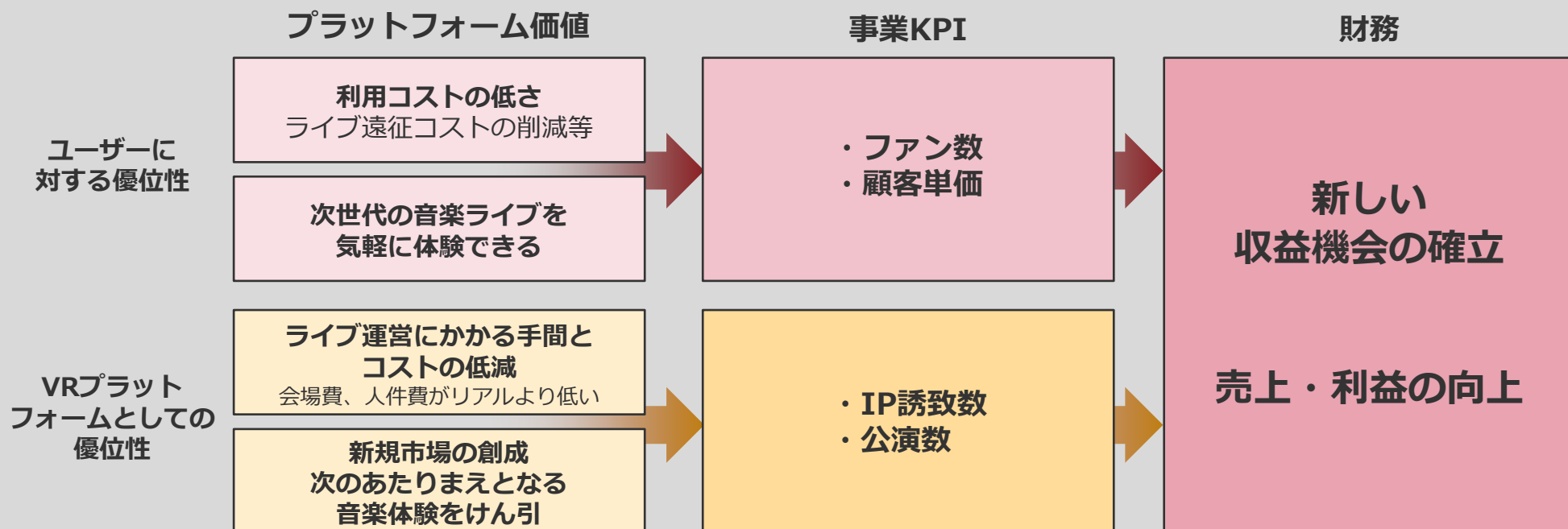


IP保有企業との
コネクション

エンターテック

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開 Virtual Live Platform『INSPIX』の価値創造

様々な環境・端末で同時生配信を可能にする次世代の体験



複合的なエンタメプラットフォームとして、VR(エンターテインメント)市場で確固たる地位を確保

エンターテック

バーチャルライブプラットフォーム運営・IP展開 Virtual Live Platform『INSPIX』への事業投資による企業価値向上

利用しやすさ、独自性でシェアを高め、利益を最大化しながら
プラットフォームの価値を高めるため継続的に投資を行う



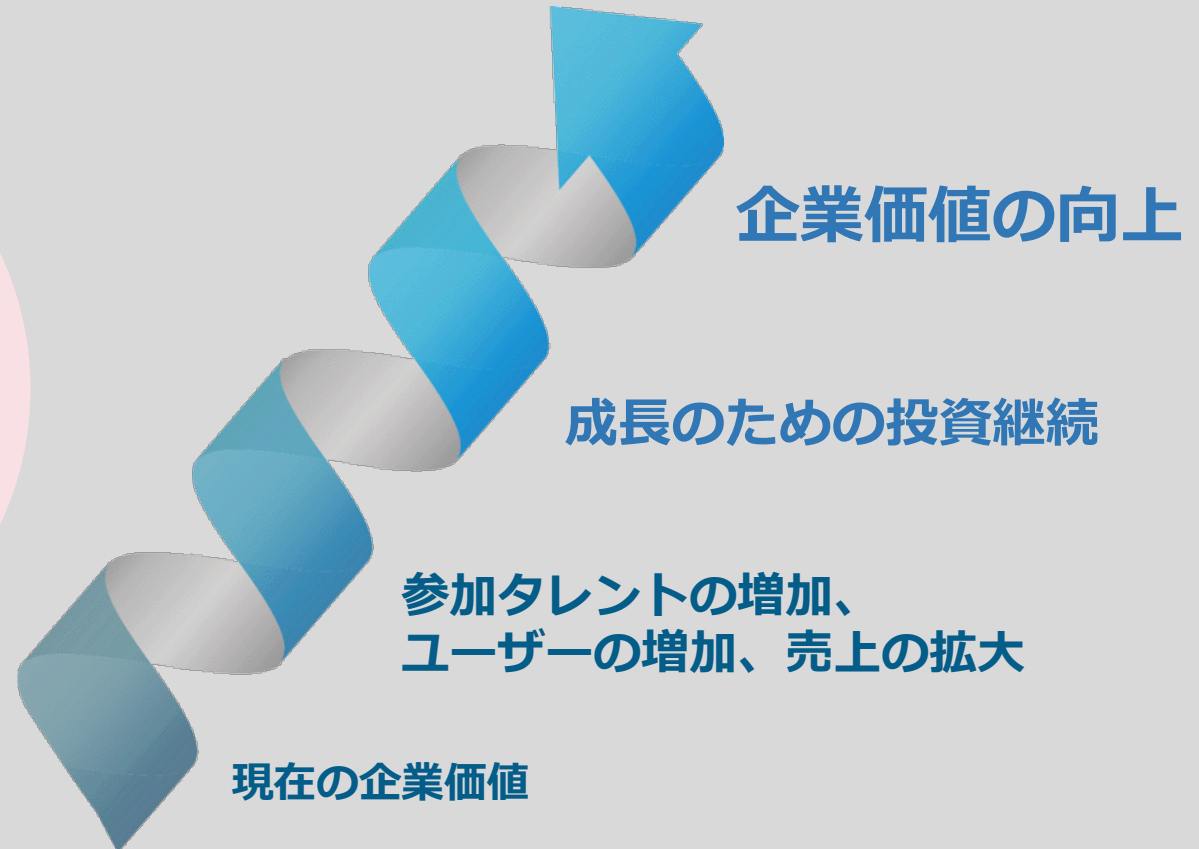
スマホ (+VR-HMD) で



モニタ画面で



イベント会場で





『INSPIX WORLD』の最重要市場は中国

世界最先端ライブ特化型
仮想空間SNSを開発

特殊な社長

- ・中国国籍
- ・日本のコンテンツで育つ
- ・国内IP・コンテンツ業界との強いパイプ

日本のIPを誘致

日本のトップクリエイターと
新規IPを開発

高いポテンシャルを持つ
新しいマーケット

パルスは圧倒的な競争力を保有

その他・医療機関向けSaaS

医療機関向けSaaS『FOREST』の戦略について

オンライン診療ポータルサービス



初期は強烈に体験がいいニッチな領域特化



大量の医療機関とお付き合いする



初期パートナーと深く組み価値創造



システム提供企業に徹する



パートナーが成功するためにできることは全部やる



その他・医療機関向けSaaS

今後、債権回収が進むことで売上、利益貢献する見込み

当事業に関する現状の会計処理

FOREST利用料等による売上債権、長期未収入金、営業貸付金	貸倒引当金計上不要	債権回収が見込めるため、 <u>貸倒引当金は計上していない</u>
	貸倒引当金計上済 (約15億円) ※1	債権回収に不確実性が存在するため、 <u>貸倒引当金を計上</u>
売上債権未計上分	債権回収に不確実性が存在するため、 <u>売上及び債権を計上していない</u>	

今後の債権回収時の会計処理※2

【債権回収】 (借) 現預金	(貸) 債権
【債権回収】 (借) 現預金	(貸) 債権
【貸倒引当金の戻入】 (借) 貸倒引当金	(貸) 貸倒引当金繰入
【売上計上】 (借) 現預金	(貸) 売上

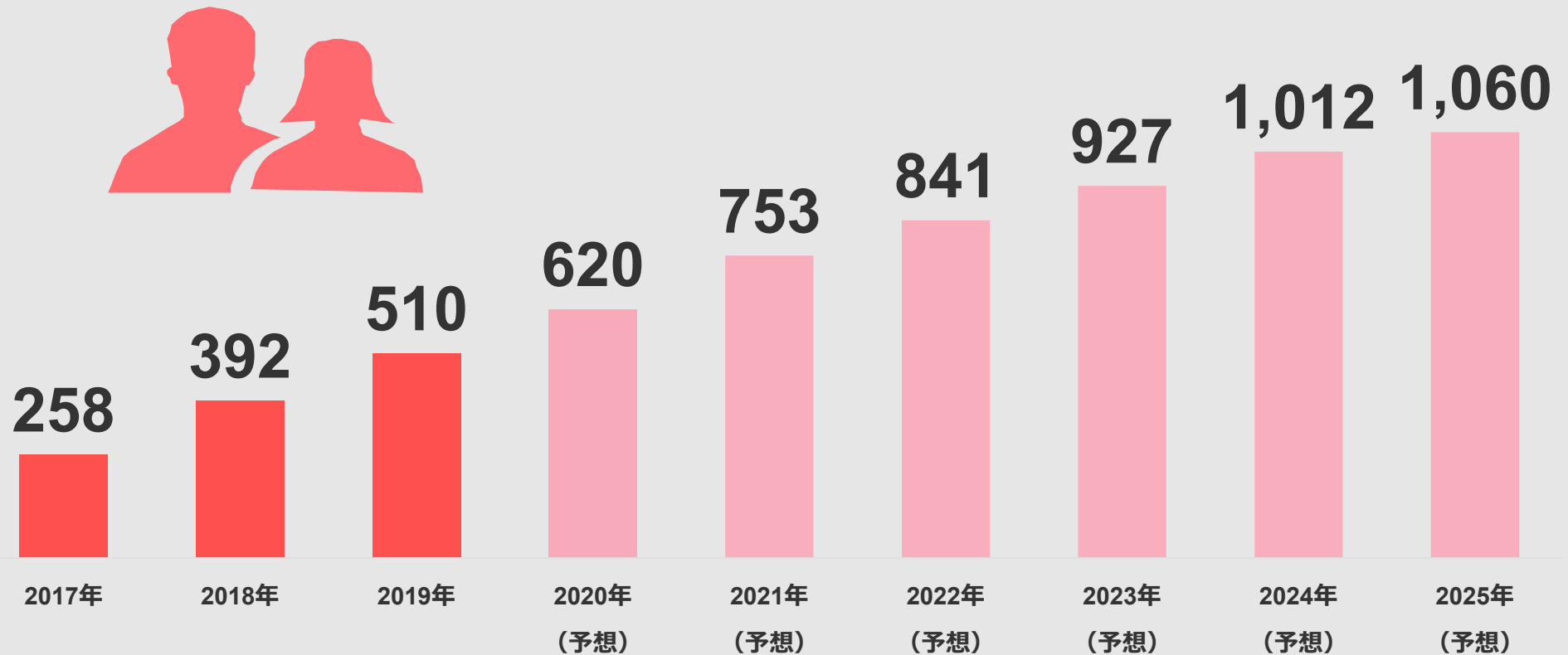
※1 2018年9月期4Qに計上した貸倒引当金となります。

※2 現時点における会計処理の想定となります。実際の会計処理は変更になる可能性があります。

各種マーケット情報

各種マーケット情報

国内オンライン恋活・婚活マッチングサービス市場規模



単位：億円

各種マーケット情報

VRで新たな音楽体験を創出する（市場ポテンシャル）

国内音楽ライブ市場規模

現実の音楽ライブのニーズは依然強いが
市場規模は伸び悩み傾向

(単位：億円)



VRで
音楽体験が変わる



VR音楽ライブ市場の可能性（仮説）

VRによる音楽ライブが
「次のあたりまえ」になる

今後のマーケット
拡大余地は大きい

(2018年)
Vtuber等の
活動が加速

ほぼ、ゼロベースから
マーケットが確立されてくる



※Vtuber：Virtual YouTuber

※出典：びあ総研&ライブ・エンタテインメント白書協会（ジャンル：音楽のみのライブ市場）

連結B/S (2017.9 ~ 2020.9)

(単位：百万円)	2017.9	2018.9	2019.9	2020.9
流動資産	4,736	1,901	1,715	3,202
固定資産	1,554	2,753	2,240	1,707
総資産	6,291	4,654	3,956	4,909
流動負債	1,395	1,825	1,309	1,611
固定負債	760	556	380	616
純資産	4,135	2,272	2,266	2,681
負債・純資産	6,291	4,654	3,956	4,909

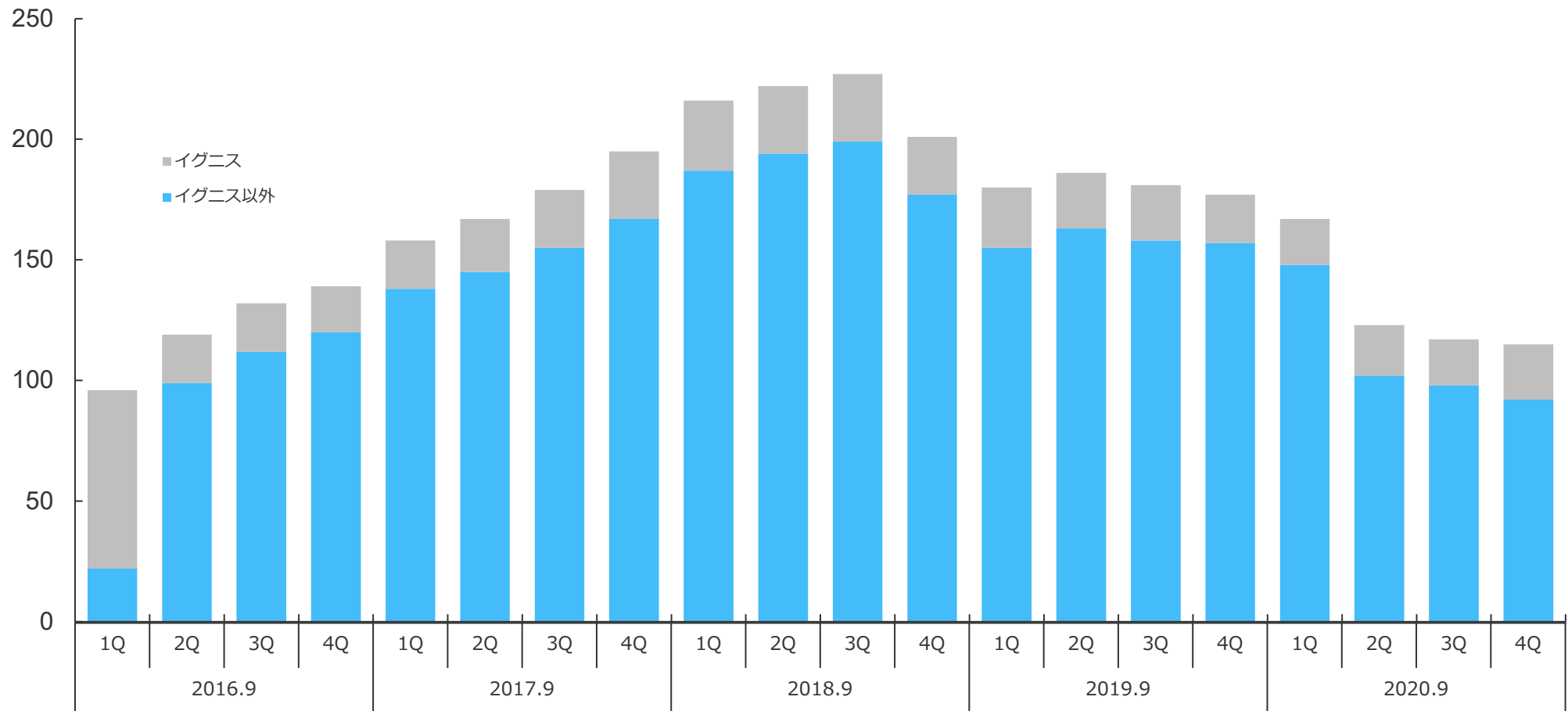
連結P/L (会計期間 2017.9 ~ 2020.9)

(単位：百万円)

	2017.9				2018.9				2019.9				2020.9			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,416	1,412	1,280	1,468	1,289	1,180	1,166	1,237	1,343	1,372	1,346	1,508	1,496	1,496	1,231	1,458
営業利益 (損失△)	148	47	△71	△40	△247	△419	△284	△1,581	△340	△174	△208	△21	65	77	△174	△199
営業利益率	10.5%	3.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3%	5.2%	-	-
経常利益 (損失△)	136	48	△72	△41	△250	△423	△305	△1,592	△361	△197	△248	△60	19	26	△330	△269
経常利益率	9.6%	3.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3%	1.8%	-	-
四半期純利益 (純損失△)	67	24	△81	△46	△233	△622	△228	△1,567	△416	△38	95	△272	△71	△104	△422	△382
純利益率	4.8%	1.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1%	-	-	-	-	-

従業員数推移

単位：人



※1：2016.9期2Qより社内体制の変更によりイグニス所属の従業員の一部（エンジニア等）がグループ会社に転籍しています。

※2：2018.9期4Qからの主な減少要因は連結子会社であった株式会社Mellowの連結範囲除外の影響です。

※3：2020.9期2Qからの主な減少要因は、ゲーム事業における主カタイトルの譲渡に伴い、一部従業員が譲渡先に移籍したことによるものです。

用語解説

VR (Virtual Reality)

人間の感覚器官に働きかけ、現実ではないが実質的に現実のように感じられる環境を人工的に作り出す技術の総称。身体に装着する機器や、コンピュータにより合成した映像・音響などの効果により、3次元空間内に利用者の身体を投影し、空間への没入（immersion）を生じさせる。

（出典：IT用語辞典 e-words）

HMD (Head Mounted Display)

ゴーグルやヘルメット、眼鏡のような形状の、頭部に装着して使用する表示装置。目を覆うように頭部に固定すると眼前の小さな表示面にコンピュータなどから送られてきた像が投影され、見ることができる。映像をヘッドマウントディスプレイに表示するシステムはVRを実現する方式の中でも特に有望なものとして近年急激に発展し、大きな注目を集めている。

（出典：IT用語辞典 e-words）

IP (Intellectual Property)

人間の知的活動によって創作された表現や、商業上有用になりうる情報や標識など、財産性のある無体物。法律で権利保護の対象となっているものには著作物や特許、商標、意匠、肖像などがある。

（出典：IT用語辞典 e-words）

AI (Artificial Intelligence)

人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断をコンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにしたもの。

（出典：IT用語辞典 e-words）

IoT (Internet of Things)

コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。

（出典：IT用語辞典 e-words）

SaaS (Software as a Service)

ソフトウェアを通信ネットワークなどを通じて提供し、利用者が必要なものを必要なときに呼び出して使うような利用形態のこと。サービス型ソフトウェアとも呼ばれる。

（出典：IT用語辞典 e-words）

ICT (Information and Communication Technology)

情報や通信に関連する科学技術の総称。特に、電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した機械や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと。

（出典：IT用語辞典 e-words）

将来見通しに関する注意事項 及び投資家・株主様への留意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、
いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。
これらは現在における見込、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、
実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。
それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、
金利、通貨為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれます。
今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、
当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

適時開示やプレスリリース、決算説明資料等の公開情報に記載された内容以外については、
基本的に個別での回答は控えさせていただきます。
東京証券取引所を通じた適時開示や当社の公式ホームページ・公式SNS・公式動画の情報以外で、
インターネット上に展開されている「株式掲示板」、「各種SNS」、「ブログ」内における
書き込み内容には、当社の公式発表ではない情報も含まれています。
そのため、これら情報に関しましても基本的に回答は控えさせていただきます。

IGNIS